

保健体育

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保体 701	A B 206	令和2年
4	大日本図書	大日本◆	保体 702	B 5 変型 196	
50	大修館書店	大修館◆	保体 703	A B 198	
224	学研教育みらい	学 研◆	保体 704	A B 206	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【保健体育科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【体育分野の目標】

[第1学年及び第2学年]

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

[第3学年]

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

【保健分野の目標】

- (1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 体育分野のページ数	教科の目標	ページ
b 保健分野のページ数	教科の目標	ページ
c 体育分野の単元別ページ数	教科の目標	単元別ページ
d 保健分野の単元別ページ数	教科の目標	単元別ページ
e 体力に関する箇所数	教科の目標	箇所
f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する箇所数	教科の目標	箇所
g 武道に関する箇所数	教科の目標	箇所
h 性に関する箇所数	教科の目標	箇所
i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する箇所数	教科の目標	箇所
j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	教科の目標	箇所
k 発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

- ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項
調査研究項目のc、d及びe～kとの関連で、次の事項について具体的に調査研究する。
- c 体育分野（別紙2-1）
 - d 保健分野（別紙2-2）
 - e 体力に関する内容（別紙2-3）
 - f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する内容（別紙2-4）
 - g 武道に関する内容（別紙2-5）
 - h 性に関する内容（別紙2-6）
 - i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容（別紙2-7）
 - j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する内容（別紙2-8）
 - k 発展的な内容の扱い（別紙2-9）
- <その他>
- *1 防災や自然災害の扱い（別紙2-10）
 - *2 性差と家族についての扱い（別紙2-11）
 - *3 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙2-12）

② 調査項目を設定した理由等

- ・ 中学校学習指導要領の改訂において新たに付け加えられたり、重要視されたりした項目を設定し、これらの記述内容を調査し比較することとした。（e、f、g、h、i、j）
- ・ 体育分野の体力に関する内容については、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総

説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (1)保健体育科改訂の趣旨 ③改善の具体的事項」において、ア(イ)体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識し、運動やスポーツの習慣化につなげる観点から体づくり運動の内容等について改善を図る。」と示されていることから調査項目とした。(e)

- 体育分野の運動やスポーツの多様な関わり方に関する内容については、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (2)保健体育科改訂の要点」において、「③運動やスポーツとの多様な関わり方を重視する観点から、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう指導内容の充実を図ること。その際、共生の視点を重視して改善を図ること。」と示されていることから調査項目とした。(f)
- 体育分野の武道に関する内容については、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (1)保健体育科改訂の趣旨 ③改善の具体的事項」において、ア(エ)「グローバル化する社会の中で、我が国固有の伝統と文化への理解を深める観点から、日本固有の武道の考え方に触れることができるよう、内容等について一層の改善を図る」と示されていることから調査項目とした。(g)
- 保健分野の性に関する内容については、中学校学習指導要領解説総則編「第1節 中学校教育の基本と教育課程の役割 2 生きる力を育む各学校の特色ある教育活動の展開 (第1章第1の2) (3)健やかな体 (第1章第1の2の(3))」において、「生徒が健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できるようにする」と示されていることから調査内容とした。(h)
- 保健分野のストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容について、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (2)保健体育科改訂の要点 ウ内容及び内容の取扱いの改善〔保健分野〕(イ)内容の改訂」において「ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容を示すこととした」と示されていることから調査項目とした。(i)
- 保健分野のがんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する内容について、特にながんの予防について、中学校学習指導要領解説保健体育編「第1章 総説 2 保健体育科改訂の趣旨及び要点 (2)保健体育科改訂の要点 ウ内容及び内容の取扱いの改善〔保健分野〕(イ)内容の改訂 ⑦健康な生活と疾病の予防」において「生活習慣病などの予防でがんを取り扱うことを示した。」と示されていることから調査項目とした。(j)
- 発展的な内容については、学習指導要領第1章総則「第2節 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通事項 (1)内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、(3)「指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」と示されている。
これらのことから、発展的な内容の扱いの有無、取り上げている内容の具体的な学習の内容について調査する。(k)
- 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。(*1)
- 性差と家族に関する表現については、東京都教育委員会教育目標の基本方針1に基づき、男女共同参画社会を目指すものの、男女の性差まで否定するものではないとの観点から、性差等に関する表現について、記述の内容を調査するとともに、「東京都男女平等参画基本条例」に基づき、適正な男女平等教育を推進するという観点から、男女が家庭生活における活動に対等な立場で参画する観点や家庭観について取り上げられている内容について調査する。(*2)
- 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。(*3)

③ 調査研究の方法

- e 体力に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- f 運動やスポーツの多様な関わり方に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- g 武道に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- h 性に関する内容に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。

- i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関して、取り上げている内容、具体的な学習の内容について調査する。
- k 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2（16）に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- *1 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- *2 性差と家族に関する表現について取り上げている内容について調査する。ただし、生物学的な性差に関する内容は、「h 性に関する内容」で調査する。
- *3 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

（2）構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点により箇条書きで記述する。

- ア 口絵
- イ 章扉・章末
- ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
 - ・読みもの
 - ・教科書の使い方（冊子のつくり・教材配列等）
- エ ユニバーサルデザインの視点
- オ デジタルコンテンツの扱い
- カ その他

「別紙1」【(1) 内容 ア 調査研究の総括表】(中学校 保健体育)

項目	a 体育分野のページ数			b 保健分野のページ数				e 体力に関する箇所数	f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する箇所数	g 武道に関する箇所数	h 性に関する箇所数	i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する箇所数	j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する箇所数	k 発展的な内容を取り上げている箇所数				
	c 体育分野の単元別ページ数		d 保健分野の単元別ページ数	健康な生活と疾病の予防	健康の機能の発達と心の	傷害の防止	健康と環境											
	運動やスポーツの多様性	い効用や学び方や安全な行方と学													意義としてのスポーツの文化			
発行者	37	11	15	11	136	56	30	30	30	30	20	9	10	4	7	5	8	18
東書	40	12	16	12	122	50	25	25	29	18	14	14	14	6	5	10	11	15
大日本	40	12	16	12	132	56	30	30	24	22	8	8	11	9	6	10	11	18
大修館	38	12	12	14	132	56	28	28	28	20	13	13	17	4	5	9	9	18
学研	38.8	11.8	14.8	12.3	130.5	54.5	28.3	28.3	27.8	20.0	11.0	11.0	13.0	5.8	5.8	8.5	9.8	17.3

表中の「平均値」は、体育分野、保健分野ごとの数値であり、小数第2位を四捨五入した。

aについては、体育分野の単元別ページ数を合計した数字である。

bについては、保健分野の単元別ページ数を合計した数字である。

cについては、体育分野における単元別の内容構成のページ数を合計した数字である。

dについては、保健分野における単元別の内容構成のページ数を合計した数字である。

eからkについては、各項目に関して記載されている箇所数である。複数の項目に関係する内容は、それぞれでカウントした。

「別紙2-1」 【 (1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 東書 】 (中学校 保健体育)

	c 体育分野				ページ数
	運動やスポーツの多様性	ページ数	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	ページ数	
単元別の 内容構成 (ページ数)	・ 体育編 1章 運動やスポーツの多様性	1	・ 体育編 2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	1	文化としてのスポーツの意義
	・ 1 運動やスポーツの必要性と楽しさ	2	・ 1 運動やスポーツの効果	2	・ 体育編 3章 文化としてのスポーツの意義 ・ 1 現代生活におけるスポーツの文化的意義
	・ 2 運動やスポーツへの多様な関わり方	2	・ 2 運動やスポーツの学び方	2	・ 2 国際的なスポーツ大会の役割
	・ 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方	2	・ 3 運動やスポーツの安全な行い方	2	・ 3 人々を結びつけるスポーツ
	・ 章末資料	3	・ 章末資料	7	・ 章末資料
	・ 学習のまとめ 確認の問題・日常生活に生かそう	1	・ 学習のまとめ 確認の問題・日常生活に生かそう	1	・ 学習のまとめ 確認の問題・活用の問題・日常生活に生かそう

「別紙2-1」 【 (1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 大日本 】 (中学校 保健体育)

	c 体育分野				ページ数
	運動やスポーツの多様性	ページ数	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	ページ数	
単元別の 内容構成 (ページ数)	・ 体育編 1章 運動やスポーツの多様性	1	・ 体育編 2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	1	文化としてのスポーツの意義
	・ 1 運動やスポーツの必要性と楽しさ	2	・ 1 運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果	2	・ 体育編 3章 文化としてのスポーツの意義 ・ 1 スポーツの文化的意義
	・ 2 運動やスポーツへの多様な関わり方	2	・ 2 運動やスポーツの学び方	2	・ 2 国際的なスポーツ大会の文化的な役割
	・ 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方	2	・ 3 安全な運動やスポーツの行い方	2	・ 資料
	・ 章末資料	3	・ 章末資料	7	・ 3 人々を結び付けるスポーツ
	・ 学習を活かそう	1	・ 学習を活かそう	1	・ 学習を活かそう
	・ 学習のまとめ	1	・ 学習のまとめ	1	・ 学習のまとめ
					・ オリンピック・パラリンピック エピソード

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 大修館】(中学校 保健体育)

	c 体育分野					
	運動やスポーツの多様性	ページ数	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	ページ数	文化としてのスポーツの意義	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ数)	・ 体育理論① 運動やスポーツの多様性	2	・ 体育理論② 運動やスポーツの効果・学び方・安全	2	・ 体育理論③ 文化としてのスポーツ	2
	・ 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ	2	・ 1 運動やスポーツの体と心への効果	2	・ 1 現代生活におけるスポーツの意義	2
	・ 2 運動やスポーツへのかかわり方	2	・ 2 運動やスポーツの学び方	2	・ 2 国際的なスポーツ大会の意義と役割	2
	・ 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方	2	・ クローズアップ	2	・ クローズアップ	2
	・ 特集資料	2	・ 3 運動やスポーツの安全なおこない方	2	・ 3 人びとを結ぶスポーツ	2
	・ 章のまとめ	2	・ 章末資料	4	・ 章のまとめ	2
			・ 章のまとめ	2		

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 学研】(中学校 保健体育)

	c 体育分野					
	運動やスポーツの多様性	ページ数	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	ページ数	文化としてのスポーツの意義	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ数)	・ 体育編1章 スポーツの多様性	2	・ 体育編2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な 行い方	2	・ 体育編3章 文化としてのスポーツ	2
	・ 1 スポーツの始まりと発展	2	・ 1 スポーツが心身や社会性に及ぼす効果	2	・ 1 スポーツの文化的意義	2
	・ 2 スポーツへの多様な関わり方	2	・ 2 スポーツの学び方	2	・ 2 国際的なスポーツ大会とその役割	2
	・ 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方	2	・ 3 スポーツの安全な行い方	2	・ 3 人々を結び付けるスポーツ	2
	・ 探究しようよ！	3	・ 探究しようよ！	3	・ 探究しようよ！	5
	・ 章のまとめ	1	・ 章のまとめ	1	・ 章のまとめ	1

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 東書】 (中学校 保健体育)

単元別の 内容構成 (ページ数)	d 保 健 分 野				健康と環境	ページ数
	健康な生活と疾病の予防	②心身の機能の発達と心の健康	傷害の防止	健康と環境		
・保健編1章 健康な生活と疾病の予防①	1	1	1	1	・保健編第5章 健康と環境	1
・1 健康の成り立ちと疾病の発生要因	2	2	2	2	・1 環境への適応能力	2
・2 運動と健康	2	2	2	2	・2 活動に適する環境	2
・3 食生活と健康	2	2	4	2	・熱中症の予防と手当 (発展)	2
・4 休養・睡眠と健康	2	2	2	2	・3 飲料水の衛生的管理	2
・5 調和のとれた生活	2	2	2	2	・4 室内の空気の衛生的管理	2
・章末資料	2	2	2	2	・5 生活に伴う廃棄物の衛生的管理	4
・学習のまとめ	1	2	2	2	・放射線と健康 (発展)	2
・保健編4章 健康な生活と疾病の予防②	1	1	2	3	・章末資料	1
・1 生活習慣病の起こり方	2	2	2	5	・学習のまとめ	2
・2 生活習慣病の予防	2	2	3	5		
・3 がんの予防	2	2	4	2		
・4 喫煙の害と健康	2	2	2			
・5 飲酒の害と健康	2	2	2			
・6 薬物乱用の害と健康	2	2	2			
・7 薬物乱用の社会的な影響	2	2	2			
・8 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処	2	2	2			
・章末資料	2	2	2			
・学習のまとめ	1	2	2			
・保健編6章 健康な生活と疾病の予防③	1	1	2	5		
・1 感染症の広がりがり方	2	2	2	2		
・2 感染症の予防	2	2	2	5		
・3 性感染症の予防	2	2	2	2		
・4 エイズの予防	2	2	2			
・5 医薬品の利用	2	2	2			
・6 保健・医療機関の利用	2	2	2			
・7 健康を守る社会の取り組み	2	2	2			
・8 保健の学習を振り返ろう	2	2	2			
・章末資料	3	2	2			
・学習のまとめ	2	2	2			

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 大日本】(中学校 保健体育)

単元別の 内容構成 (ページ数)	d 保 健 分 野			
	健康な生活と疾病の予防	心身の機能の発達と心の健康	傷害の防止	健康と環境
	ページ数	ページ数	ページ数	ページ数
・保健編1章 健康な生活と病気の予防	1	1	1	1
・1 健康の成り立ち	2	2	2	2
・2 運動と健康	2	2	4	2
・3 食生活と健康	2	2	2	2
・4 休養・睡眠と健康	2	2	2	2
・5 調和のとれた生活	2	2	4	2
・草末資料	1	2	2	2
・学びを活かそう	1	2	4	3
・学習のまとめ	1	2	2	1
・保健編3章 健康な生活と病気の予防	1	2	2	1
・1 生活習慣病の予防	2	2	2	2
・2 がんの予防	2	1	1	1
・3 喫煙と健康	2	2	1	1
・4 飲酒と健康	2	2	1	1
・5 薬物乱用と健康	2	2	2	2
・6 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	2	2	2	2
・草末資料	3	2	2	2
・学びを活かそう	1	2	2	2
・学習のまとめ	1	2	2	2
・保健編5章 健康な生活と病気の予防	1	2	2	2
・1 感染症の原因	2	2	2	2
・2 感染症の予防	2	2	2	2
・3 性感染症の予防	2	2	2	2
・4 エイズの予防	2	2	2	2
・5 個人の健康を守る社会の取り組み	2	2	2	2
・6 医薬品の有効利用	2	2	2	2
・草末資料	3	2	2	2
・学びを活かそう	1	2	2	2
・学習のまとめ	1	2	2	2
・保健編4章 傷害の防止	1	1	1	1
・1 傷害の発生要因と防止	2	2	2	2
・2 交通事故の要因と傷害の防止	4	4	4	4
・3 犯罪被害の防止	2	2	2	2
・4 自然災害による傷害の防止	2	2	2	2
・資料 自然災害の脅威	4	2	2	2
・5 応急手当の基本	4	2	2	2
・6 心肺蘇生法	4	2	2	2
・7 出血があるときの応急手当	2	2	2	2
・8 外傷の応急手当	2	2	2	2
・草末資料	2	2	2	2
・学びを活かそう	1	2	2	2
・学習のまとめ	1	2	2	2
・保健編第6章 健康と環境	1	1	1	1
・1 環境への適応能力	2	2	2	2
・2 快適な環境の条件	2	2	2	2
・3 空気の汚れと換気	2	2	2	2
・4 水の役割と飲料水の条件	2	2	2	2
・5 生活にともなう廃棄物の処理	2	2	2	2
・6 環境問題への取り組み	2	2	2	2
・草末資料	3	2	2	2
・学びを活かそう	1	2	2	2
・学習のまとめ	1	2	2	2

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 大修館】(中学校 保健体育)

単元別の 内容構成 (ページ数)	d 保 健 分 野				健康と環境	ページ数
	健康な生活と疾病の予防	心身の機能の発達と心の健康	傷害の防止	健康と環境		
<ul style="list-style-type: none"> ・保健① 調和のとれた生活 ・1 健康の成り立ち ・2 運動と健康 ・3 食事と健康 ・4 休養・睡眠と健康 ・章のまとめ ・保健③ 生活習慣の健康への影響 ・1 生活習慣病 ・2 生活習慣病の予防 ・3 がんとその予防 ・4 生活習慣病・がんの早期発見とその回復 ・5 喫煙と健康 ・6 飲酒と健康 ・7 薬物乱用と健康 ・8 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処 ・特集資料 ・章のまとめ ・保健⑤ 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み ・1 感染症と病原体 ・2 感染症と体の抵抗力 ・3 感染症の予防 ・4 性感染症とその予防 ・5 エイズとその予防 ・6 保健機関とその利用 ・7 医療機関とその利用 ・8 医薬品の正しい使い方 ・特集資料 ・章のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健② 心身の発達と心の健康 ・1 体の発育・発達 ・2 呼吸器・循環器の発育・発達 ・3 生殖にかかわる動きの成熟(1) ・4 生殖にかかわる動きの成熟(2) ・5 性への関心と行動 ・6 知的機能・情意機能の発達 ・7 社会性の発達と自立 ・8 自己形成 ・9 欲求とその充足 ・10 心と体のかかわりとストレス ・11 ストレスへの対処のしかた ・12 実習 リラクゼーションの方法 ・クローズアップ ・章のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健④ けがの防止と応急手当 ・1 けがの原因と防止 ・2 交通事故の実態と原因 ・3 交通事故の防止 ・クローズアップ ・4 自然災害によるけがの防止 ・5 応急手当の意義と基本 ・6 心肺蘇生法の流れ ・7 実習 心肺蘇生法 ・8 実習 止血法、包帯法、固定法 ・特集資料 ・章のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健⑥ 環境の健康への影響 ・1 環境の変化への体の適応 ・2 気象情報の適切な利用 ・3 快適で能率のよい環境 ・4 室内の空気の汚染と換気 ・5 衛生的な飲料水の供給 ・6 し尿とごみの処理 ・7 災害と環境 ・8 私たちの生活と環境問題 ・特集資料 ・章のまとめ 	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2
		2	2	2	2	2

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 学研】(中学校 保健体育)

	d 保 健 分 野				
	健康な生活と疾病の予防	心身の機能の発達と心の健康	傷害の防止	健康と環境	ページ数
単元別の 内容構成 (ページ数)	ページ数	ページ数	ページ数	ページ数	ページ数
・保健編1章 健康な生活と病気の予防①	2	2	2	2	2
・1健康の成り立ち	2	2	2	2	2
・2生活習慣と健康(1)運動と健康	2	2	2	2	2
・3生活習慣と健康(2)食生活と健康	2	4	2	2	2
・4生活習慣と健康(3)休養・睡眠と健康	2	2	2	2	2
・生活習慣と健康 調和のとれた生活	2	2	2	2	2
・探究しようよ!	3	2	2	2	2
・章のまとめ	1	2	2	2	2
・保健編3章 健康な生活と病気の予防②	2	4	4	2	2
・1生活習慣病とその予防	4	1	1	4	2
・2がんとその予防	2	1	1	2	2
・3喫煙と健康	2	2	2	2	2
・4飲酒と健康	2	2	2	2	2
・5薬物乱用と健康	2	2	2	2	2
・6喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ	2	2	2	2	2
・たばこ・酒・薬物に手を出さないために	3	2	2	2	2
・探究しようよ!	3	2	2	2	2
・章のまとめ	1	2	2	2	2
・保健編5章 健康な生活と病気の予防③	2	4	4	4	4
・1感染症とその予防	4	2	2	2	2
・2性感染症とその予防/エイズ	4	2	2	2	2
・3健康を守る社会の取り組み	2	2	2	2	2
・4医療機関の利用と医薬品の使用	2	3	2	2	2
・探究しようよ!	3	1	2	2	2
・章のまとめ	1				

「別紙2-3」 【(1) 内容 e 体力に関する内容】(中学校 保健体育)

発行者	取り上げている内容	e 体力に関する内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツと食事(口絵5) ○運動の効果(P 8) ○規則正しい食生活(P 10) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P 54) ○運動やスポーツの効果(P 112) ○体力の要素(P 118-119) ○現代社会におけるスポーツの文化的意義(P 170) ○新体力テスト(P 190-191) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P 5-6) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P 9) ○運動と健康(P 18-19) 	<p>具体的な学習の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボール選手の体力と食事についてのコメントを取り上げている。 ・運動は健康を支える体力を養うとともに、適度に行うことで気分転換にもなることを説明している。 ・屋食や夕食は、エネルギーの補給や消耗した体力を補うことを説明している。 ・多様な楽しみ方の資料1で体力を高め健康を維持する具体例を示している。 ・適切に運動やスポーツを行うことで、体力や運動技能の維持・向上に効果があることを説明している。 ・運動やスポーツを行うための体力3要素の年間発達量の変化について図を用いて示している。 ・体力の要素や体力の高め方について図で示している。 ・スポーツをすることで体力を維持向上させると説明している。 ・測定項目について、行い方や注意点を文章と図で示している。 ・健康や体力の維持・向上のためには、生涯にわたって運動したり、保健体育の学習で運動などを行って体を動かしたりすることが必要であることを説明している。 ・健康や体力の維持・向上のために、体ほぐし運動「体の動きを高める運動」があることを説明している。 ・運動を行うと体力が向上し、運動不足になると体力や体の抵抗力が低下することなど、運動の効果・影響を説明している。 ・「トビックス」の中で、「体の動きを高める運動」を行うことで、体力を高めることができると説明している。 ・体力向上などを目的として意図的に行う運動をイラストで説明している。 ・身体活動とは、健康の増進や体力の向上などの目的をもって余暇時間に行う運動であることを説明している。 ・呼吸器官・循環器官のはたらきが向上すると、全身に酸素が効率よく送られるため、運動を長く続けられ体力(持久力)も向上することを説明している。 ・中学生の時期に様々な運動やスポーツを適切に行うと、運動の技能だけでなく、筋力、全身持久力、柔軟性、体を巧みに動かす能力など健康に生活するための体力と、運動などを行うための体力が向上することを説明している。 ・運動やスポーツを行うための体力3要素の年間発達量の変化について図を用いて示している。 ・体力の要素、中学校で学ぶ運動と関連して高まる主な体力の要素をイラストを用いて説明している。 ・全身持久力を維持・向上するための運動について説明している。 ・自己に適したトレーニングの行い方を例を挙げながら説明している。 ・高地トレーニングの効果について、その仕組みや実践した選手の例と共に説明している。 ・測定項目について、行い方や注意点、測定の際のねらいをイラストを交えて説明している。 ・スポーツを行う目的に健康や体力の保持増進が示されている。 ・体の動きの高まりを楽しむことについてイラストや写真を用いて説明している。 ・持久的な運動を続けることで、呼吸器・循環器の働きが向上することを説明している。 ・発達段階を踏まえて適切に体を動かすことと体の機能が向上すると示されている。 ・コラムで「中学生期に高めたい体力」について図を用いて示している。 ・体力向上のための計画を立てやすいように、体力の要素と体づくり運動の内容や例が示されている。 ・総合的な体力テストがよいと学力テストもよいとアメリカの研究で明らかになったと説明している。 ・テスト項目について、実施方法や注意点、測定する体力の要素をイラストを交えて説明している。 ・人類は古代から体を動かしており、体力や健康を保持増進するための運動も工夫されたと説明している。 ・楽しさや必要性から見たスポーツの中に、体力を高めるはたらきがあることをイラストを使い説明している。 ・コラムで「体力向上部」を取り上げている。 ・運動の効果に体力の維持・向上を取り上げている。 ・中学生の時期は、特に持久力や筋力が著しく発達する時期であることを説明している。 ・資料3で中学生・高校生の運動指針を示している。 ・資料4で体力・運動能力の発達について示している。 ・体力は、活力のある生活を送っていくための土台となるもので、健康に生活するための体力と運動を行うための体力があることを説明している。 ・資料1で技能と体力について示している。 ・災害から生命を守るため、避難のときに必要な体力を整理して説明している。 ・スポーツがもたらす価値の中で健康・体力の保持増進が一番多い割合を示している。 ・測定項目について、行い方や注意点を説明文と図で示している。 ・体力測定の活用とその活用(P 194) 	
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○体力の向上(P 62-63) ○ニコニコベース走(P 68) ○マイトレーニングをつくろう！(P 68) ○環境への適応能力(P 150) ○新体力テスト(P 168-169) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P 7) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P 10) ○運動と健康(P 20) ○運動やスポーツの体と心への効果(P 60) ○体力を高めよう(P 62-63) ○総合的な体力テストと学力の関係(P 68) ○新体力テスト(P 176-177) ○スポーツの始まりと発展(P 17) 		
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの多様な楽しみ方(P 21) ○運動と健康(P 30-31) ○スポーツが心身と社会性におよぼす効果(P 74) ○技術・技能と体力の関係(P 76) ○探究しようよ！ 体力の必要性(P 80) ○スポーツの文化的意義(P 138) ○新体力テストの行い方(P 192-193) ○体力の測定とその活用(P 194) 		

「別紙2-4」 【(1) 内容 f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する内容】(中学校 保健体育)

発行者	取り上げている内容	f 運動やスポーツの多様な関わり方に関する内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○人と人をつなぐスポーツ(口絵3、4) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P50-51) ○運動やスポーツの多様な関わり方(P52-53) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P55) ○私とスポーツ(P56-57) ○運動やスポーツの効果(P113) ○現代社会におけるスポーツの文化的意義(P170-171) ○人々を結び付けるスポーツ(P174-175) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツには、様々な違いを超えて人々を結び付ける力があることを写真を用いて説明している。 ・運動やスポーツの関わり方に楽しさが多様に広がることを説明している。 ・運動会は運動やスポーツを多様に楽しむと同時に世帯を超えて地域を一つにする重要な文化と説明している。 ・「すること」のほかに「見ること」「支えること」「知ること」という関わり方があることを説明している。 ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するためには、運動やスポーツを楽しむための能力を高めることが大切であると説明している。 ・様々な職種の人々や著名な人物とスポーツとの多様な関わり方を取り上げている。 ・仲間や体力や技能レベル、年齢、性別、障害の有無などの違いを超えて運動やスポーツを行う際に求められる社会的性を説明している。 ・違いを越えるスポーツを説明している。 ・違いを越えて交流するスポーツ大会やイベントを説明している。 ・運動やスポーツを行う、見る、支える、楽しむなど豊かなスポーツライフの実現の形を口絵を用いて説明している。 ・「運動やスポーツの必要性和楽しさ」、「運動やスポーツの多様な楽しみ方」を学習し、自分のスポーツライフを身につめること、中学校と高校のそれぞれで学習することを説明している。 ・運動やスポーツは誰もが生涯にわたって楽しむものへと変化していることを説明している。 ・生涯にわたって運動やスポーツの必要性和楽しさ、保健体育の学習で学ぶ運動種目の例をイラストを用いて説明している。 ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを行うことだけでなく、見る、支える、知ることといった多様な関わり方があることを説明している。 ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するためには、運動やスポーツを楽しむための能力を高めることが大切であると説明している。 ・目的、年齢、性別などの違いを超えてスポーツを楽しむ例として「キーンボール」を取り上げている。 ・仲間や体力や技能レベル、年齢、性別、障害の有無などの違いを超えて運動やスポーツを行う際に求められる社会的性を説明している。 ・イラストを用いて、運動やスポーツとの多様な関わり方を示している。 ・スポーツは民族や国、人種や性別、障がいのある無などの違いを超えて、人々を結び付ける文化的な働きをもっていることを説明している。 ・トビックスで、「アダプテッド・スポーツ」について説明している。 ・人々を結び付けるスポーツについて、写真を用いて示している。 ・違いを超えて交流を深めるスポーツ大会について、写真を用いて示している。 ・オリンピック・パラリンピックに関する様々な人々を写真で紹介している。 ・スポーツの多様な関わり方を説明している。 ・国や障害の有無といった違いを超えて、共に挑戦し、楽しみ、支え合おうとしている人々を紹介している。 ・応援、ボランティア、仲間、健康等、運動やスポーツに関わる様々な方法があると説明している。 ・スポーツの多様な関わり方が楽しさの追求につながることを説明している。 ・見る、みる、支える、知るといった多様な関わり方があることを写真を交えて説明している。 ・豊かなスポーツライフを実現するために、運動やスポーツを楽しむための能力を高めることが大切であると説明している。 ・「ゆるいスポーツ」、「超人スポーツ」を紹介している。 ・様々な人々と交流することを文章や写真で説明している。 ・スポーツは、生活を豊かにする大切な存在と説明している。 ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、障害の有無などといった違いを超えて、自分にとって合った運動や多様な楽しみ方を見つたり工夫したりすることが大切であることを文章やイラストで説明している。 ・運動やスポーツを生涯にわたって楽しむには、自分に合った運動や多様な楽しみ方を見つたり工夫したりすることが大切であることを文章やイラストで説明している。 ・目的や年齢、性別といったさまざまな違いを超えてスポーツを楽しむための関わり方を選んだり、見つけたり、工夫したりすることができるようになっていくことが説明されている。 ・「スポーツを見る」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツを支える」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツを知る」について写真と文章を用いて説明している。 ・「アダプテッド・スポーツ」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツをつくる」について写真と文章を用いて説明している。 ・スポーツの多様な関わり方(支える)について映像分析スタッフの仕事の説明している。 ・仲間や体力や技能の程度、年齢や性別、障害の有無など、様々な違いを超えてスポーツを行う際に求められる社会的性を説明している。 ・国際大会などでは、民族や国、人種、性別、年齢、性別、障害の有無などの違いを際立たせながらも、世界中の人がそれぞれを超えて分かち合える可能性に気づかせてくれることを説明している。 ・様々な人々と交流することを文章や写真で説明している。 ・スポーツは、国や人種、性別、障害の有無などに関わらず生涯にわたって楽しむことができる文化と説明している。 ・資料2 国際的なスポーツ大会でその役割(P141) ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、性別、障害の有無など、説明している。 ・様々なスポーツとの関わり方で自分たちが何ができるか深めようとしている。 ・様々なスポーツには、様々な違いを超えて人々を結び付ける働きがあることを説明している。 	具体的な学習の内容
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツはみんなができる、みんなを近づける(口絵5、6) ○運動やスポーツの多様性(P3) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P4-5) ○運動やスポーツへの多様な関わり方(P6-7) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P8-9) ○運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果(P56-57) ○人々を結び付けるスポーツ(P126-127) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに関する様々な人々を写真で紹介している。 ・スポーツの多様な関わり方を説明している。 ・国や障害の有無といった違いを超えて、共に挑戦し、楽しみ、支え合おうとしている人々を紹介している。 ・応援、ボランティア、仲間、健康等、運動やスポーツに関わる様々な方法があると説明している。 ・スポーツの多様な関わり方が楽しさの追求につながることを説明している。 ・見る、みる、支える、知るといった多様な関わり方があることを写真を交えて説明している。 ・豊かなスポーツライフを実現するために、運動やスポーツを楽しむための能力を高めることが大切であると説明している。 ・「ゆるいスポーツ」、「超人スポーツ」を紹介している。 ・様々な人々と交流することを文章や写真で説明している。 ・スポーツは、生活を豊かにする大切な存在と説明している。 ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、障害の有無などといった違いを超えて、自分にとって合った運動や多様な楽しみ方を見つたり工夫したりすることが大切であることを文章やイラストで説明している。 ・運動やスポーツを生涯にわたって楽しむには、自分に合った運動や多様な楽しみ方を見つたり工夫したりすることが大切であることを文章やイラストで説明している。 ・目的や年齢、性別といったさまざまな違いを超えてスポーツを楽しむための関わり方を選んだり、見つけたり、工夫したりすることができるようになっていくことが説明されている。 ・「スポーツを見る」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツを支える」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツを知る」について写真と文章を用いて説明している。 ・「アダプテッド・スポーツ」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツをつくる」について写真と文章を用いて説明している。 ・スポーツの多様な関わり方(支える)について映像分析スタッフの仕事の説明している。 ・仲間や体力や技能の程度、年齢や性別、障害の有無など、様々な違いを超えてスポーツを行う際に求められる社会的性を説明している。 ・国際大会などでは、民族や国、人種、性別、年齢、性別、障害の有無などの違いを際立たせながらも、世界中の人がそれぞれを超えて分かち合える可能性に気づかせてくれることを説明している。 ・様々な人々と交流することを文章や写真で説明している。 ・スポーツは、国や人種、性別、障害の有無などに関わらず生涯にわたって楽しむことができる文化と説明している。 ・資料2 国際的なスポーツ大会でその役割(P141) ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、性別、障害の有無など、説明している。 ・様々なスポーツとの関わり方で自分たちが何ができるか深めようとしている。 ・様々なスポーツには、様々な違いを超えて人々を結び付ける働きがあることを説明している。 	具体的な学習の内容
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目(口絵2) ○私たちの成長と運動やスポーツの広がり(口絵3、4) ○共に生きる(口絵5、6) ○運動やスポーツの多様性(P4-5) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P6) ○運動やスポーツへの関わり方(P8-9) ○運動やスポーツの多様な楽しみ方(P11) ○特異資料(P12-13) ○文化としてのスポーツ(P120-121) ○現代生活におけるスポーツの意義(P122-123) ○人びとを結ぶスポーツ(P128-129) ○スポーツの多様な楽しみ方(P20-21) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに関する様々な人々を写真で紹介している。 ・スポーツの多様な関わり方を説明している。 ・国や障害の有無といった違いを超えて、共に挑戦し、楽しみ、支え合おうとしている人々を紹介している。 ・応援、ボランティア、仲間、健康等、運動やスポーツに関わる様々な方法があると説明している。 ・スポーツの多様な関わり方が楽しさの追求につながることを説明している。 ・見る、みる、支える、知るといった多様な関わり方があることを写真を交えて説明している。 ・豊かなスポーツライフを実現するために、運動やスポーツを楽しむための能力を高めることが大切であると説明している。 ・「ゆるいスポーツ」、「超人スポーツ」を紹介している。 ・様々な人々と交流することを文章や写真で説明している。 ・スポーツは、生活を豊かにする大切な存在と説明している。 ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、障害の有無などといった違いを超えて、自分にとって合った運動や多様な楽しみ方を見つたり工夫したりすることが大切であることを文章やイラストで説明している。 ・運動やスポーツを生涯にわたって楽しむには、自分に合った運動や多様な楽しみ方を見つたり工夫したりすることが大切であることを文章やイラストで説明している。 ・目的や年齢、性別といったさまざまな違いを超えてスポーツを楽しむための関わり方を選んだり、見つけたり、工夫したりすることができるようになっていくことが説明されている。 ・「スポーツを見る」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツを支える」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツを知る」について写真と文章を用いて説明している。 ・「アダプテッド・スポーツ」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツをつくる」について写真と文章を用いて説明している。 ・スポーツの多様な関わり方(支える)について映像分析スタッフの仕事の説明している。 ・仲間や体力や技能の程度、年齢や性別、障害の有無など、様々な違いを超えてスポーツを行う際に求められる社会的性を説明している。 ・国際大会などでは、民族や国、人種、性別、年齢、性別、障害の有無などの違いを際立たせながらも、世界中の人がそれぞれを超えて分かち合える可能性に気づかせてくれることを説明している。 ・様々な人々と交流することを文章や写真で説明している。 ・スポーツは、国や人種、性別、障害の有無などに関わらず生涯にわたって楽しむことができる文化と説明している。 ・資料2 国際的なスポーツ大会でその役割(P141) ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、性別、障害の有無など、説明している。 ・様々なスポーツとの関わり方で自分たちが何ができるか深めようとしている。 ・様々なスポーツには、様々な違いを超えて人々を結び付ける働きがあることを説明している。 	具体的な学習の内容
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○探究しようよ！(P22-24) ○スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方(P73) ○スポーツが心身と社会性に及ぼす効果(P75) ○文化としてのスポーツ(P136-137) ○スポーツの文化的意義(P139) ○国際的なスポーツ大会とその役割(P141) ○人々を結び付けるスポーツ(P142) ○探究しようよ！4 スポーツとSDGs(P148) ○保健体育の学習の終わりに(P188) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに関する様々な人々を写真で紹介している。 ・スポーツの多様な関わり方を説明している。 ・国や障害の有無といった違いを超えて、共に挑戦し、楽しみ、支え合おうとしている人々を紹介している。 ・応援、ボランティア、仲間、健康等、運動やスポーツに関わる様々な方法があると説明している。 ・スポーツの多様な関わり方が楽しさの追求につながることを説明している。 ・見る、みる、支える、知るといった多様な関わり方があることを写真を交えて説明している。 ・豊かなスポーツライフを実現するために、運動やスポーツを楽しむための能力を高めることが大切であると説明している。 ・「ゆるいスポーツ」、「超人スポーツ」を紹介している。 ・様々な人々と交流することを文章や写真で説明している。 ・スポーツは、生活を豊かにする大切な存在と説明している。 ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、障害の有無などといった違いを超えて、自分にとって合った運動や多様な楽しみ方を見つたり工夫したりすることが大切であることを文章やイラストで説明している。 ・運動やスポーツを生涯にわたって楽しむには、自分に合った運動や多様な楽しみ方を見つたり工夫したりすることが大切であることを文章やイラストで説明している。 ・目的や年齢、性別といったさまざまな違いを超えてスポーツを楽しむための関わり方を選んだり、見つけたり、工夫したりすることができるようになっていくことが説明されている。 ・「スポーツを見る」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツを支える」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツを知る」について写真と文章を用いて説明している。 ・「アダプテッド・スポーツ」について写真と文章を用いて説明している。 ・「スポーツをつくる」について写真と文章を用いて説明している。 ・スポーツの多様な関わり方(支える)について映像分析スタッフの仕事の説明している。 ・仲間や体力や技能の程度、年齢や性別、障害の有無など、様々な違いを超えてスポーツを行う際に求められる社会的性を説明している。 ・国際大会などでは、民族や国、人種、性別、年齢、性別、障害の有無などの違いを際立たせながらも、世界中の人がそれぞれを超えて分かち合える可能性に気づかせてくれることを説明している。 ・様々な人々と交流することを文章や写真で説明している。 ・スポーツは、国や人種、性別、障害の有無などに関わらず生涯にわたって楽しむことができる文化と説明している。 ・資料2 国際的なスポーツ大会でその役割(P141) ・民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、性別、障害の有無など、説明している。 ・様々なスポーツとの関わり方で自分たちが何ができるか深めようとしている。 ・様々なスポーツには、様々な違いを超えて人々を結び付ける働きがあることを説明している。 	具体的な学習の内容

「別紙2-5」 【(1) 内容 g 武道に関する内容】 (中学校 保健体育)

発行者	g 武道に関する内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○運動と健康 (P 9) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ (P50) ○文化としてのスポーツの意義 (P169) ○人々を結び付けるスポーツ (P175) ○スポーツはみんなができる、みんなを上げられる(口絵5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料6の健康づくりのための運動量の目安で武道のイラストを取り上げている。 ・「見つける」で、柔道のイラストを取り上げている。 ・「偉人の紹介」で、柔道の創設者の「嘉納治五郎」を取り上げている。 ・資料4として、年齢の違いを行って行う柔道を取り上げている。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツの移り変わり (P11) ○安全な運動やスポーツの行い方 (P61) ○中学校で学ぶ運動と関連して高まる主な体力の要素 (P63) ○運動やスポーツの技術と学び方の例 (P67) ○スポーツの文化的意義 (P120) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツを行う視点で、攻防を制する場面の例として剣道の例として剣道を取り上げ写真を用いて説明している。 ・武道の歴史や変遷などを文章と口絵で説明している。 ・資料1として、段階的な練習を行う例として柔道のイラストを取り上げている。 ・中学校で学習する武道と、それによって高まる体力要素をイラストを用いて示している。 ・中学校で学習する武道の技術や学び方について、イラストを用いて説明している。 ・「ミニ知識」として日本生まれのスポーツには柔道、剣道、相撲、なぎなた、弓道などの武道があることを説明している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目(口絵1) ○私たちの成長と運動やスポーツの広がり(口絵3) ○共に生きる(口絵6) ○運動やスポーツの必要性和楽しさ(P7) ○運動やスポーツのかかわり方(P9) ○運動やスポーツの学び方(P65) ○運動やスポーツの安全なおこない方(P66-67) ○国際的なスポーツ大会の意義と役割(P125) 	<ul style="list-style-type: none"> ・磨きあげた技を競いあう説明として柔道の写真を取り上げている。 ・授業で学ぶ運動やスポーツの例示で剣道の写真を取り上げている。 ・日本人女性がブラジル柔道男子代表チームの監督をしている様子を説明している。 ・資料④スポーツのとらえ方の広がりの中で、運動競技について柔道のイラストで説明している。 ・資料②職業としてのスポーツへのかわり方について、相撲の場面を用いて説明している。 ・各種目特有の技術や戦術があることに関する映像や練習方法、練習、課題について写真を交えて説明している。 ・資料②で、剣道のイラストを用いて説明している。 ・資料⑥で、柔道のイラストを用いて説明している。 ・柔道の創始者である「嘉納治五郎」を取り上げている。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの始まりと発展 (P17) ○自己形成 (P58) ○文化としてのスポーツ (P137) ○探究しようよ！ (P148) 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しさや必要性から見たスポーツの事例として、柔道のイラストを取り上げている。 ・課題をつかむの中で、柔道のイラストを取り上げている。 ・「過去から学ぶ」で柔道の創始者である「嘉納治五郎」を取り上げている。 ・オリンピックレガシーで一校一國運動を取り上げ、相撲の写真を掲載している。

「別紙2-6」 【(1) 内容 h 性に関する内容】(中学校 保健体育)

発行者	取り上げている内容	h 性に関する内容	具体的な学習の内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○体の発育・発達 (P 20-21) ○生殖機能の成熟 (P 24-27) ○異性の尊重と性情報への対処 (P 28-29) ○胎児を育てる母体の神秘 (P 43) ○性の多様性 (P 44) ○性感染症の予防 (P 152-153) ○エイズの予防 (P 154-155) 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、卵巣や精巣などの生殖機能が発達し、男女の体つきに変化が生じることを説明している。 ・思春期に起こる男女の体の変化には、ホルモンが関係していることや男女の生殖機能の発達、受精と妊娠について文章と資料の図を用いて、説明している。 ・性衝動や性情報の正しい対処方法について、説明している。 ・胎児と母体について文章と図や写真を用いて説明している。 ・生物学的な性と自分の意識が一致しない人がいることを文献を引用して説明している。 ・性感染症は、性的接触によって、感染する疾病であることを説明している。 ・エイズの特徴や、予防対策について資料や写真を用いて、説明している。 	<p>具体的な学習の内容</p>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○体の発育・発達 (P 30) ○生命を生み出す体への成熟 (P 34-37) ○思春期の心の変化への対応 (P 38-39) ○性感染症の予防 (P 136-137) ○エイズの予防 (P 138-139) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の頃は、生殖機能が発育・発達する時期と説明している。 ・性腺の発育・発達、生命を生み出す体への成熟、各生殖器の発育・発達について文章やイラスト、図を用いて説明している。 ・思春期の心の変化、異性との関わり方や性情報への対処などについて文章、イラスト、図を用いて説明している。 ・性感染症や、青少年の感染、性感染症の予防について文章や写真、図を用いて説明している。 ・エイズとHIVの特徴や、エイズの予防法について資料や写真を用いて説明している。 	
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○体の発育・発達 (P 31) ○生殖にかかわる働きの変化 (1) (P 34-35) ○生殖にかかわる働きの変化 (2) (P 36-37) ○性への関心と行動 (P 38-39) ○性感染症とその予防 (P 140-141) ○エイズとその予防 (P 142-143) 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、卵巣や精巣などの生殖機能が発達すると説明している。 ・性腺刺激ホルモンの刺激により精巣から男性ホルモン、卵巣から女性ホルモンが分泌され、大人の男女の体つきが作り上げられることや、卵子の成熟と排卵、月経について、イラストを交えて説明している。 ・精子や精液、射精、受精から妊娠についてイラストや写真を用いて、説明している。 ・異性への関心等について記載している。個人差があり、違いを理解し、互いを尊重することが大切であり、また、正しい性情報の選択をするための正しい判断を身につける必要があると説明している。 ・若年層で性感染症が問題になってきていることや、その特徴、種類、予防方法、受診の重要性を説明している。 ・エイズの問題点や予防法について資料や写真を用いて、説明している。 	
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○心身の発達と心の健康 (P 43) ○体の発育・発達 (P 45) ○生殖機能の成熟 (P 48-51) ○性とどう向き合うか (P 52-53) ○性感染症とその予防/エイズ (P 156-159) 	<ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティを取り上げている。 ・卵巣や精巣などの生殖器は思春期に急速に発育することを説明している。 ・思春期になると、男女の体つきにそれぞれ特徴的な変化が現れたり、月経や射精が起こったりすることなどを説明している。資料4で女子の生殖器と排卵・月経の仕組みを示し、資料5で男子の生殖器と射精の仕組みを示している。 ・思春期になると、身体機能の成熟に伴って、性意識にも変化が現れることを説明している。性情報に惑わされて誤った行動をし、犯罪に巻き込まれたり、心身に傷つけること、説明している。 ・性感染症とは、性的接触によって感染する病気であることを説明している。また、資料を用いて、生殖器クラミジア感染症や梅毒の年間感染者数を男女別に示している。また、エイズの特徴や予防について資料や図を用いて説明している。 	

「別紙2-7」 【(1) 内容 i ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容】 (中学校 保健体育)

発行者	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東書 大日本	<p>○ストレスへの対処の方法 (P40-42)</p> <p>○自分の気持ちを上手に伝える (P45)</p> <p>○応急手当の意義と方法 (P76-78)</p> <p>○心肺蘇生法 (P79-83)</p> <p>○運動やスポーツの効果 (P112)</p> <p>○ストレスへの対処 (P46-47)</p> <p>○心と体の関わり (P48-49)</p> <p>○リラクゼーションの方法 (P51)</p> <p>○運動やスポーツが心身や社会性に及ぼす効果 (P56)</p> <p>○保健編第4章 傷害の防止 (P89)</p> <p>○応急手当の基本 (P104-105)</p> <p>○心肺蘇生法 (P106-109)</p> <p>○出血があるときの応急手当 (P110-111)</p> <p>○外傷の応急手当 (P112-113)</p> <p>○ストレスへの対処 (P50-51)</p>	<p>・ストレスとの向き合い方やその対処方法(リラクゼーションの方法)について、説明している。</p> <p>・コミュニケーションの方法について説明している。</p> <p>・応急手当の意義について説明し、直接圧迫法、包帯法を写真や図を用いて説明している。</p> <p>・心肺蘇生法(胸骨圧迫、気道確保、人工呼吸、AED)について、写真や図を用いて説明している。</p> <p>・適度な運動やスポーツはストレスの解消やリラクゼーション効果が期待できると説明している。</p> <p>・ストレスへの対処法やリラクゼーションの方法などをイラストを用いて説明している。</p> <p>・「トピックス」で笑いの健康効果について説明している。</p> <p>・心と体の調和について、イラストを用いて説明している。</p> <p>・リラクゼーションの方法として漸進的筋かん法をイラストを用い、説明している。</p> <p>・運動やスポーツを楽しむことには、ストレスを解消したりリラクゼーションができることと説明している。</p> <p>・写真を用いてAEDを使った心肺蘇生法を示している。</p> <p>・応急手当の目的、傷病者を発見したときの行動、119番通報(救急車の呼び方)などをイラストを用いて説明している。</p> <p>・心肺蘇生法の流れや手順を写真や一覧表にして説明している。</p> <p>・切り傷や鼻血など出血があるときの応急手当をイラストを用いて説明している。</p> <p>・打撲、脱臼、捻挫、骨折など外傷の応急手当の基本をイラスト等を用いて説明している。</p> <p>・ストレスの原因に対処する方法(コミュニケーション、受け止め方の改善、相談すること、気分転換)など、自分のまわりやその状況に応じた手段を選択することが大切だと説明している。</p> <p>・呼吸法、体ほぐしの運動、筋肉をリラクゼーションさせる方法をイラストを変え、説明している。</p> <p>・悩みの対処法を具体例を示して説明している。</p> <p>・手軽な運動を行うとストレスの解消やリラクゼーションができることと説明している。</p> <p>・RICE法の応急手当をイラストを変え、説明している。</p> <p>・写真を用いて実習で身につける心肺蘇生法を示している。</p> <p>・応急手当の意義や方法、手順などを説明している。手順は図を用いて示している。</p> <p>・心肺蘇生法の意義や流れを文章や図を用いて示している。</p> <p>・胸骨圧迫、AEDの操作、気道確保と人工呼吸について、イラストを変えて説明している。</p> <p>・様々な体の部位の応急手当の方法と技能のポイントについて、イラストを変えて説明している。</p>
大修館 学研	<p>○ストレスへの対処 (P60-63)</p> <p>○リラクゼーションの方法 (P64)</p> <p>○ストレス (P66)</p> <p>○コミュニケーション (P67)</p> <p>○スポーツが心身と社会性に及ぼす効果 (P74)</p> <p>○けがの応急処置と再発防止 (P82)</p> <p>○応急手当の意義と基本 (P122-123)</p> <p>○心肺蘇生法 (P124-126)</p> <p>○きずの手当 (P128-129)</p>	<p>・ストレスが過ぎたり、長く続いたりすると、心身に悪影響を及ぼすことがあることや、ストレスへの適切な対処方法について説明している。</p> <p>・ストレスの対処法について、イラストと文章で説明している。</p> <p>・ストレスチェットの例等を用いて、ストレスについて調べることを取り上げている。</p> <p>・コミュニケーションによりストレスによる心身への負担を減らすことができることを説明している。</p> <p>・手軽な運動を行うとストレスの解消やリラクゼーションにつながることを説明している。</p> <p>・RICE処置とテーピングについてイラストを用いて説明している。</p> <p>・応急手当の意義や一般的な流れを説明している。</p> <p>・心肺蘇生法の流れをフローチャートで示し、手技について写真を用いて説明している。</p> <p>・「止血法」「包帯法」「固定法」の手技について写真とイラストを用いて説明している。</p>

「別紙2-8」 【(1) 内容 j がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する内容】 (中学校 保健体育)

発行者	取り上げている内容	がんの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○がんの予防(P96-97) ○喫煙の害と健康(P98-99) ○飲酒の害と健康(P100-101) ○薬物乱用の害と健康(P102-103) ○薬物乱用の社会的な影響(P104-105) ○喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処(P106-107) ○健康を守る社会の取り組み(P160) ○アンチドーピング(P178) ○がんの予防(P74-75) 	<p>がんやがんの予防について説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこに含まれる有害物質を図と言葉で説明し、喫煙が人体に及ぼす影響についても説明している。 ・飲酒が人体に及ぼす影響について、資料3の図を用いて説明している。 ・覚醒剤や大麻などの薬物乱用は、心身にどのような影響があるか説明している。 ・薬物乱用によって、どのような症状が現れるかを実際の証言(資料1)や新聞記事(資料2)を使い説明している。 ・喫煙・飲酒・薬物乱用をしないための対処についても、資料3に示している。 ・薬物乱用としてドーピングの種類を示している。 ・がんの種類やがんができる仕組み、原因などの概要と、がんの予防策などについてイラストを用いて説明している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○喫煙と健康(P76-77) ○飲酒と健康(P78-79) ○薬物乱用と健康(P80-81) ○喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ(P82-83) ○章末資料(P84-86) ○学びを活かそう(P87) 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙による体への影響について肺がんのことに触れ、肺がん死亡率をグラフで示している。 ・飲酒における体への影響や未成年者における飲酒の害などについて、文章や図、グラフを用いて説明している。 ・薬物乱用による健康への害や社会的影響などについて文章や写真、イラストを用いて説明している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ、危険な行動を避ける力などについて文章やイラストで説明している。 ・がんの進行と自覚症状が出るまでを文章と図を用いて説明している。 ・がんを早期発見するためにポスターなどでがん検診の受診を呼び掛けていることを説明している。 ・喫煙や受動喫煙の害について、文章や写真を用いて説明している。 ・アルコールの分解について文章と図を用いて説明している。 ・薬物乱用の恐ろしさなどについて、文章や図、写真を用いて説明している。 ・がんについての学習を今後の生活に活かすため、がんについて考え、話し合い活動ができるようワークシートを示している。
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○がんとその予防(P80-81) ○生活習慣病・がんの早期発見とその回復(P82-83) ○喫煙と健康(P84-85) ○飲酒と健康(P86-87) ○薬物乱用と健康(P88-89) ○喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処(P90-91) ○特集資料(P92-93) ○保健所と保健センターの違い(P145) ○免疫とがん治療(P151) ○がんとその予防(P90-91) ○喫煙と健康(P92-93) ○飲酒と健康(P94-95) ○薬物乱用と健康(P96-97) ○喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ(P98-99) ○たばこ・酒・薬物に手を下さないために(P100-101) ○探究しようよ！(P102-104) 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの説明や発生の仕組み、種類、適切な生活習慣ががんの発生を減少させることを説明している。 ・がんの早期発見・早期治療について、具体的な検診や生存率をイラストと図を用いて説明している。 ・たばこの煙は周りの人へも有害である等と説明し、その他、資料を用いて、たばこが健康へ悪影響を及ぼすことが示されている。 ・アルコールによる脳への作用、心や行動への影響、依存性、健康問題をイラストや写真、グラフを用いて説明している。 ・薬物乱用による脳への影響や依存性、社会への影響を説明し、様々な薬物の写真を用いて名称や心身への影響を説明している。 ・喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処を心理的要因と人間関係や社会的要因によるものとして説明している。 ・飲酒の誘いの断り方について、考えさせる問いを示している。 ・がんの進行と早期発見について、文章とイラストを用いて説明している。 ・がんの三つの治療法について、文章とイラストを用いて説明している。 ・保健センターでがん検診について知ることができると記載している。 ・がんと免疫細胞の関係やイラストを交えて示し、免疫チェックポイント阻害薬の説明をしている。 ・がんを引き起こす要因と予防の仕方について、文章や図、イラストを用いて説明している。 ・喫煙の健康への影響やまわりの人への影響を図やイラストを用いて説明している。 ・アルコールは脳や神経の働きを低下させ、思考力や自制心、運動機能を低下させることについて説明している。 ・薬物乱用による心身への影響や社会への悪影響を、文章や図、イラストを用いて説明している。 ・個人的要因と社会的環境の要因、防止対策を写真やイラストで説明している。 ・「危険な心理状態になったときにどうするか」「たばこ・酒の宣伝・広告をどう見るか」「誘われたときにどうするか」を体験やイラストで示している。 ・がんの治療について、文章や図を用いて説明している。 ・「がんと共に生きる、がん患者と共に生きる」をテーマに探究活動ができるよう示している。 ・ドーピングについて考える問いを示している。
学研		<p>具体的な学習の内容</p>

発行者	取り上げている内容	k 発展的な内容の扱い
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○進化する歩数計(P7) ○アレルギーについて(P16) ○睡眠の大切さ(P17) ○胎児を育てる母体(P43) ○性の多様性(P44) ○インターネットによるコミュニケーションとトラブル(P46) ○共に生きる(P74-75) ○体育活動中の事故(P84) ○さまざまな自然災害の危険と安全な避難(P86) ○インターネットと依存症(P109) ○スポーツも脳が行う(P121) ○熱中症の予防と手当(P132-133) ○戦後日本の廃棄物処理事情(P138) ○放射線と健康(P142-143) ○地球温暖化による健康への影響(P144) ○免疫と予防接種(P164) ○SDGsから考えよう(P166) ○アンチ・ドーピング(P178) 	<p style="text-align: center;">具体的な学習の内容の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩数計の歴史について触れ、健康づくりととの関係性について説明している。 ・アレルギーと、その原因となるものとの関係について説明している。 ・睡眠について眠りのサイクルを図で表し、睡眠の大切さについて説明している。 ・胎児と母体は、胎盤を介してへその緒でつながっていることや、母体の血液から酸素や栄養素、免疫を受け取り、不要なものは排出する過程を説明している。 ・生物学的な性と自分の意識とが一致しない人がいることを文献を引用して説明している。 ・インターネット利用時に起こるトラブルについて、図を用いて示している。 ・大きな災害の被害にあった時に想定される心の状態や、中学生ができること、地域の役割について説明している。 ・中学生と高校生の体育活動中の事故について、グラフを用いて説明している。 ・自然災害について説明し、起こった場合の避難の仕方について説明している。 ・中学生のインターネット利用状況を示しながら、依存症について説明している。 ・運動の得意、不得意の違いについて触れ、スポーツには脳が関わっていること、小さな頃に経験すると良い運動について説明している。 ・図を用いて熱中症のメカニズムを示し、人体に現れる症状と手当について説明している。 ・戦後復興、経済発展に伴ったごみの処理方法から今日の廃棄物の処理及び清掃に関する内容を説明している。 ・放射線が人体に及ぼす影響について説明している。 ・地球温暖化についての説明と、地球温暖化が進んだ時に起こる健康や安全への影響について図で示している。 ・免疫が果たす役割や仕組みについて図を用いて説明している。また、予防接種の有効性について説明している。 ・SDGsとその取組について図を用いて説明している。 ・ドーピングが体に与える悪影響や世界的な撲滅活動、「日本アンチ・ドーピング機構」の活動を説明している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ヘルスプロモーション(P16) ○アンガー・マネジメント(P44) ○PTSD(P46) ○脳と神経(P50) ○マイルレーニングをつくろう！(P68) ○インターネットを利用した犯罪(P97) ○熱中症の予防と応急手当(P114) ○世界の人々の健康を守る(P140) ○全ての人が健康に生活できる社会(P145) ○食品の廃棄物(P160) ○体温の調節(P162) ○放射能と健康(P162-163) ○循環型社会の実現に向けて(P163) ○気候変動への対策(P164) ○クオリティ・オブ・ライフ(P167) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスプロモーションについての考え方を「トピックス」として示している。 ・アンガー・マネジメントについて「トピックス」として説明している。 ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)について「トピックス」として説明している。 ・脳のつくりと役割についてイラストや図を用いて説明している。 ・習慣的、効果的に体力を高める方法についてイラストや例を挙げて示している。 ・インターネットを利用した犯罪について、総務省「インターネットトラブル事例集」(2018年度版)を用いて説明している。 ・熱中症の予防と応急手当について、基本知識や起こりやすい条件、予防策、応急手当の流れをイラストや図を用いて説明している。 ・主にWHOが行っている取組について、「トピックス」として説明している。 ・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの意味や世界の医療サービスの実状などについて「章末資料」として説明している。 ・食品の廃棄物について「トピックス」として説明している。 ・体温の調整機能について「章末資料」としてイラストを用いて説明している。 ・放射能における外部被ばく、内部被ばく、身の回りの放射被ばくについてイラストやグラフを用いて説明している。 ・循環型社会を目指す意味、仕組みなどを図を用いて説明している。 ・気候変動の原因や、対応策、自分たちにできることなどを写真や図を用いて説明している。 ・OOL(クオリティ・オブ・ライフ)の考え方について図を用いて説明している。

発行者	取り上げている内容	k 発展的な内容の扱い
大修館	<p>取り上げている内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スマホ首と疲労(P24) ○「脳の発達＝神経回路が複雑になる」だけではない(P40) ○自律神経の働き(P48) ○運動と脳(P68) ○運動のやりすぎに注意(P71) ○健康診断の検査の例(P82) ○見直そう！スマホの習慣(P92) ○がんの3つの治療法(P93) ○ネットワーク利用犯罪の危険(P105) ○気象災害から命を守る行動(P117) ○生活習慣の抵抗力への影響(P137) ○ふたたび増加している性感染症「梅毒」(P141) 	<p>具体的な学習の内容の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン等の長時間使用による、ストレートネックの問題を説明している。 ・脳の活動の主役である神経細胞の回路の形成について説明している。 ・神経は交感神経、副交感神経に分けられることや、それぞれの役割について説明している。 ・適度な運動やスポーツが、知的な能力を向上させると説明している。 ・女性のスポーツの選手が陥りやすい三つの健康問題について説明している。 ・検査の内容、検査で分かる生活習慣病の例を表を用いて説明している。 ・スマホを利用することで得たもの、失ったものについて、考えさせるための事例を示している。 ・がんの治療法として、主に手術、放射線、薬があり、医師と相談して最適な方法を選択する必要があると説明している。 ・インターネット内での、トラブルについて説明している。 ・大雨、台風での警戒レベルの内容や竜巻、雷の避難方法を説明している。 ・感染症のリスクを減らしたのは、医療の充実だけではなく、栄養や運動の影響が大きいことを説明している。 ・早期治療により完治するが、治療の遅れや放置をすると脳や心臓に合併症を起すことがあることや近年は抗生物質の普及により減少したが、女性20代、男性20～40代が多くなっていることについて説明している。 ・いつの時代にもある感染症に対し、社会全体で研究を進めること、一人一人が信頼できる機関から情報を得て行動し、発生源、感染経路、体への抵抗力にかかわる対策が大切だと、説明している。 ・がんと免疫細胞の関係がイラストを交えて示され、免疫チェックポイント阻害薬の説明をしている。 ・食物アレルギーを取り上げ、症状が重くシヨック状態(アナフィラキシーショック)になると、命にかかわることがあることを説明している。応急処置のエビペンを示している。 ・地球温暖化・ヒートアイランドの仕組みや規模の違いを示し、健康被害や生態系の変化への懸念を説明している。 ・熱中症の対処方法を図を用いて、説明している。 ・放射性物質を内部や外部から受けることにより、白血病、甲状腺等のがん、次世代への遺伝的影響が心配され、注意が必要であると説明している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○健康の成り立ち(P28) ○アレルギー(P38) ○脳死と臓器移植(P39) ○睡眠を見直そう(P40) ○がんの治療(P102) ○がんと共に生きる、がん患者と共に生きる(P103) ○ドーナツ(P104) ○インターネットと健康(P104) ○傷害の原因と防止(P108) ○台風・大雨などによる水害・土砂災害(P120) ○熱中症を疑ったときの対応(P127) ○インターネットを通じた犯罪被害の防止(P130) ○津波(P131) ○急な大雨や雷・竜巻から身を守るために(P131) ○スポーツとSDGs(P148) ○動物由来感染症(ズーノーシス)(P164) ○ユニバーサルデザイン(P165) ○放射線と健康(P185) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が脳死になった際に、臓器提供をすることを考えさせる問いを示している。 ・アレルギーと、その原因となるものとの関係について説明している。 ・脳死の判定と臓器抽出について話し合うよう問いを示している。 ・自分の睡眠を振り返り、よりよい睡眠について考えるよう示している。 ・がんの治療について調べる学習ができるよう問いを示している。 ・がんに関わった人の気持ちを3つの事例を基に思考できるように示している。 ・ドーナツの説明とドーナツの健康被害の例を記載し、考えさせるように問いを示している。 ・インターネットの過度の使用による健康問題を取り上げ、依存チェックや調査の結果を掲載し説明している。 ・離岸流について説明している。 ・警戒レベルを図で示している。 ・フローチャートを示し、対処法を説明している。 ・インターネットの犯罪被害をどのように防ごうかを事例を二つ挙げ、説明している。 ・普通の波と津波の違い、津波の速さをイラスト用いて、なぜ早く逃げなければならぬのかを考えさせるよう問いを示している。 ・急な大雨、雷、竜巻をイラストで掲載し、それぞれの対処法を説明している。 ・SDGsを説明し、自分たちにできることを考えるためのイラストを示している。 ・主な動物由来感染症の説明を記載し、気を付けるべきことを示している。 ・ユニバーサルデザインの例として、身近なものの写真を掲載している。 ・2011年に起きた東日本大震災に触れ、放射線の種類や被ばく量、放射線から身を守る方法についてイラストで示し、説明している。

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
東 書	<p>「支え合って生きていく」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】災害発生時に協力して被災者の救助を行う、社会全体で取り組む事例を示している。(口絵8) <p>「傷害の防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】写真で地域の防災意識を高める取組を紹介している。(P61) ・【文章】「偉人の紹介」で津波から多くの人を救った「濱口悟陵」の紹介をしている。(P61) <p>「自然災害による危険」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】災害の発生時や発生直後、発生後に生じる危険について説明している。(P70-71) ・【写真】倒壊した建物や地震の二次災害を示している。(P70-71) <p>「自然災害による傷害の防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】災害に備えた安全対策、安全な行動等を説明している。(P72-73) ・【イラスト】自然災害への備えや知識の活用場面で示している。(P72-73) <p>「共に生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】災害時の心のケア、中学生や地域の役割について示している。(P74-75) ・【写真】避難訓練時の中学生の様子を用いて、災害時の中学生の役割を示している。(P75) <p>「さまざまな自然災害の危険と安全な避難」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真・図】台風・大雨、竜巻、落雷、火山噴火を写真を用いて示し、警戒レベルについて図で説明している。(P86-87) <p>「地域安全マップの作成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】マップの作成の手順を説明している。(P88) ・【写真】「作成例(津波避難マップ)」を写真を用いて説明している。(P88)
大日本	<p>「自然災害による傷害の防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】自然災害における一次災害、二次災害の危険や、自然災害への備え、発生した場合の行動について、説明している。(P98) ・【文章】「トビックス」で津波でんてんこを取り上げ、三陸地方に伝わる教訓を説明している。(P98) ・【写真】自然災害の例を示している。(P99) ・【イラスト】ハザードマップ、地震が発生したときの行動を示している。(P99) <p>「自然災害の脅威」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】地震や集中豪雨、竜巻、火山の噴火などの自然災害の脅威を示している。(P100-102) ・【イラスト】災害時などのもものための行動マニュアルや非常時持出品をイラストで示している。(P103) <p>「学びを活かそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【イラスト】避難所のできることを考え、グループで話し合い活動ができるようワークシートで示している。(P116)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(掲載ページ)
大修館	<p>「野外スポーツの危険と対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】「特集資料」にて、山、海、川での自然災害による危険と対策を説明している。(P71) 「けがの防止と応急手当」 ・【写真】防災訓練の様子を写真を用いて示している。(P96) ・【写真】洪水から人びとを守る地下放水路を示している。(P97) <p>「自然災害によるけがの防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】地震災害と二次災害等、避難により命を守ることや災害への対策を説明している。(P106-107) ・【写真】地震による建物の倒壊、二次災害(津波、土砂崩れ)、火山の噴火、安全確保の原則、広域避難場所の標識、津波避難場所の標識、家具に関する地震対策について示している。(P106-107) <p>「地震災害から命を守る行動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・イラスト】特集資料にて、自宅、外出中などのそれぞれの注意事項が記載され、家族との連絡方法や安全な避難経路、備蓄について説明している。(P116) <p>「気象災害から命を守る行動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・写真】特集資料にて、大雨、台風での警戒レベルの内容や竜巻、雷の避難方法を説明している。(P117) 「災害と環境」 ・【文章】災害による環境の悪化や健康への悪影響、災害時の情報の活用とその危険性を説明している。(P168-169) ・【写真】豪雨による被害を示している。 ・【イラスト】被災地での主な健康問題とその対策を補足的にイラストを用いて説明している。(P168-169)
学 研	<p>「体力の必要性 災害から生命を守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・イラスト】災害時の避難の際に必要な体力や、避難生活が長引いたとき、避難所でできる運動の例を説明している。(P80) <p>「傷害の防止」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【図】南海トラフ巨大地震発生の可能性や、想定される津波の最大の高さを示している。(P106) ・【写真】「函館市津波ハザードマップ」「台風進路予想図や気象レーダー」「避難場所や避難経路の掲示」の写真を示している。(P107) <p>「自然災害に備えて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】一次災害、二次災害について説明している。(P116-117) ・【写真】自然災害の例、様々な災害情報を示している。(P116-117) <p>「自然災害を知る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】「地震」「台風」「大雪」「竜巻」「火山噴火」について過去に起こった時の写真を掲載している。(P118-119) <p>「自然災害から身を守るために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】連絡先や避難場所、危険な場所の確認「警報や注意報と取るべき行動の確認」「自然災害発生時の避難行動」「日頃からの備え」をイラストや写真を用いて説明している。(P120-121) <p>「探究しようよ！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【イラスト】普通の波と津波の違いを示し、なぜ逃げなければならないのかを考えさせるようにしている。(P131) ・【イラスト】「急な大雨」「雷」「竜巻」を掲載し、それぞれの対処法を説明している。(P131)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
<p>東 書</p>	<p>「支え合って生きている」 ・【写真】保健体育の授業でグループワークを男女協力して行っている。(口絵7) 「異性の尊重と性情報への対処」 ・【文章】心や体は人それぞれ違っていて多様であることを理解し、互いに尊重し合うことが大切であると説明している。(P28) 「保健体育の学習方法」 ・【イラスト・写真】男女が協力して学習している様子を示している。(P2-3) 「欲求と心の健康」 ・【イラスト】男女が協力して学習している様子を示している。(P36) 「運動やスポーツへの多様な関わり方」 ・【イラスト】男女が協力して学習している様子を示している。(P53) 「さまざまな自然災害の危険と安全な避難」 ・【イラスト】父親と母親が協力して気象情報を入手しようとしている姿を示している。(P87) 「運動やスポーツの効果」 ・【文章】体力や技能、障がいの有無など、個人の様々な違いを超えてルールやマナーに対する合意を形成し、それらを尊重することは、社会性の発達につながることを説明している。(P113) ・【イラスト】資料2で社会性の例として、男女がチームメイトで教え合う姿を示している。(P113) 「運動やスポーツの字ひ方」 ・【イラスト・写真】男女混合チームで、作戦を立て話し合っている場面を掲載し、男女共習している姿を、示している。(P120) 「文化としてのスポーツの意義」 ・【写真】章扉に男女が一緒に5人6脚走を実施している姿を示している。(P169) 「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章】ルールによって男女同数が決められているスポーツや、障がいの有無による差をなくすための用具の工夫などがあることを説明している。(P175) ・【写真】男女混合種目として、ノットミントン混合ダブルスを示している(P174)</p>
<p>大 日 本</p>	<p>「スポーツはみんなができる、みんなをつなげる」 ・【写真】年齢や性別をこえて共に運動やスポーツを楽しむことを、示している。(口絵6) 「運動やスポーツの必要性と楽しさ」 ・【イラスト】男女でバレーボールで交流する場面を示している。(P5) 「心身の発達と心の健康」 ・【写真】章扉に男女が協力して学習したり、体育祭で円陣を組んだりする様子を示している。(P29) 「思春期の心の変化への対応」 ・【文章】お互いの性に対する意識や行動の違いを理解し、互いが高め合える人間関係を築いていくことがとても大切だと説明している。(P38) ・【文章】「ヒックス」性別に関わりなく、個性を尊重できる社会の実現に取り組むことが大切と説明している。(P38) 「人との関わりと自分らしさ」 ・【文章】中学生の時期は、家族や友達との社会性がより一層発達すると説明している。(P42-43) 「学びを活かそう」 ・【ワークシート】友達やクラスメートが困ったり悩んだりしているときにアドバイスしようという発問で、Cさんが母親に反抗してしまったという事例がワークシートで示されている。(P52) 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」 ・【イラスト】災害発生時を想定し、日頃から備えておくことについて家の人と一緒に確認することを説明している。(P103) 「自然災害の脅威」 ・【イラスト】災害発生時を想定し、日頃から備えておくことについて家の人と一緒に確認することを説明している。(P103) 「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章・写真】スポーツは、民族や国、人種や性別、障がいの有無、年齢、<中略> 文化的なはたらしきをもってしていることを説明している。(P126-127) 「学びを活かそう」 ・【ワークシート】年齢、性別、障がいの有無などの違いをこえて、誰でも競技に参加できるように地域の運動会を企画するためのワークシートを示している。(P128)</p>

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
大修館	<p>「保健体育の学び方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】男女が協力して、学習に取り組んでいる姿を示している。(P2-3) 「運動やスポーツへのかかわり方」 ・【写真】運動会でのかかわり方の中で男女が協力して、取り組んでいる姿を示している。(P9) 「特集資料①ゆるスポーツ」 ・【文章・写真】「イモムシラグビー」は、年齢や性別、障害の有無に関係なく全員と一緒に活動できることを示している。(P12) 「性への関心と行動」 ・【文章】性差を理解し、互いに尊重し、高め合える関係をつくることが大切と説明している。(P38) 「運動やスポーツの学び方」 ・【イラスト】男女が協力してフォーメーションについて話し合っている姿を示している。(P64) 「現代生活におけるスポーツの意義」 ・【文章】UNESCO(国連教育科学文化機関)では、等しくスポーツをおこなう権利をもっていることを示している。(P123) 「クローズアップ」 ・【文章】「こんにちはでは、『男性がする種目で女性が少ない種目は無い』といわれるようになりました。」と説明されている。(P126)
学 研	<p>「スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章・写真】多様な分野で、活躍している男女を紹介している。(口絵2-3) 「スポーツの始まりと発展」 ・【文章・イラスト】例示で家族と週末のジョギングを始めたことを示している。(P17) 「心身の発達と心の健康」 ・【文章】性の多様性などについて取り上げている。(P43) 「性とう向き合うか」 ・【文章】多様性を理解し、互いを尊重した関係を築くことを説明している。(P52) 「自己形成」 ・【写真】男女が仲良く食事をとったり、学習したりする姿を示している。(P59) 「スポーツが心身と社会性に及ぼす効果」 ・【文章】仲間の体力や技能の程度、年齢や性別を超えて人間関係を築いたりするなどの社会性が求められることを説明している。(P75) 「自然災害に備えて」 ・【イラスト】家族で、避難する場所や危険な場所を話し合っている姿を示している。(P116) 「国際的なスポーツ大会とその役割」 ・【イラスト】男女のグループが、協力して学習している姿を示している。(P141) 「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章】民族や国、人種、風土、地域、性別、年齢、障害の有無といった違いを超えて、誰もが共通の経験を味わうことができることを説明している。(P143)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東 書	<p>「オリンピック・パラリンピックのメッセージ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】「オリンピックの3つの価値」卓越、友情、敬意、尊重が説明されている。(口絵1) ・【写真】「オリンピックの4つの価値」勇氣、決意・インスピレーション・平等が説明されている。(口絵2) <p>「運動やスポーツと食事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】車いすバスケケットボール選手の高澤拓也さんのコメントと共に食事の大切さを説明している。(口絵5) ・【運動やスポーツの多様性】 ・【文章】「偉人の紹介」で「金栗四三」を紹介している。(P49) 「私とスポーツ」 ・【文章】「パラリンピアン 谷 真海さん」の体験を紹介している。(P56) ・【文章】「梅川スポーツ財団特別研究員 西川千春さん」の体験を紹介している。(P57) <p>「偉人の紹介」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【文章】「偉人の紹介」にて「人見絹枝」を紹介している。(P111) ・【文章】「偉人の紹介」にて「嘉納治五郎」を紹介している。(P169) 「国際的なスポーツ大会の役割」 ・【文章】「東京オリンピック・パラリンピックの文化的役割を説明している。(P172-173) 「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章】「オリンピック・パラリンピックでは、出場国や種目が増加していることを説明している。(P174-175) 「オリンピック・パラリンピック」 ・【文章】「章末資料」にてオリンピック・パラリンピックの歴史に触れ、参加選手数の推移や大会の様子を写真で示している。(P176-177)
大日本	<p>「スポーツは世界の言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】「オリンピック・パラリンピック競技大会の様子を示している。(口絵P3-4) 「スポーツはみんなができる、みんなをなげける」 ・【写真】「パラリンピック競技大会の様子を示している。(口絵P6) 「オリンピック・パラリンピック」 ・【写真】「オリンピック・パラリンピックの歴史や活躍した日本人などを説明している。(口絵P7-8) 「世界で活躍する人々を支える健康」 ・【写真】「文章」オリンピック・パラリンピアンが健康に過ごすために気をつけていることをインタビュー形式で示している。(口絵P9-10) 「私たちの生活とスマートフォン」 ・【写真】「東京オリンピック・パラリンピック大会でのメダルが情報機器や小型家電などから回収された金属によりつくられている。(口絵14) 「運動やスポーツへの多様な関わり方」 ・【文章】「オリンピック・パラリンピックでの関わり方について、振り返ってみましょうと、教科書下部に発問として示している。(P6) 「運動やスポーツの多様な楽しみ方」 ・【文章】「トビックス」にて2018年冬季オリンピックでの健闘をたたえ合う日本と韓国の選手の様子を紹介している。(P8) 「運動やスポーツの移り変わり」 ・【写真】「中学校で学ぶ運動」についての歴史や成り立ちに触れ、オリンピック競技大会での様子を章末資料として示している。(P10-11) 「学びを活かそう」 ・【ワークシート】2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を振り返るようにしている。(P13) 「文化としてのスポーツの意義」 ・【写真】「オリンピック・パラリンピックの開閉会式の様子を示している。(P119) 「スポーツの文化的意義」 ・【イラスト】「第2期スポーツ基本計画の一つで、オリンピック・パラリンピックに関する政策目標を資料で示している。(P121) 「国際的なスポーツ大会の文化的な役割」 ・【文章】「オリンピック・パラリンピックの価値について、説明している。(P122) ・【イラスト・写真】「オリンピック憲章根本原則、オリンピックの価値、国際的なスポーツ大会の例を示している(P123) 「オリンピック・パラリンピックについて知ろう！」 ・【文章】「オリンピック・パラリンピックについての歴史や参加国、参加者数の推移などについて資料を用いて説明している。(P124-125) 「人々を結び付けるスポーツ」 ・【文章】「近代オリンピックが開催された4月6日を開発と平和のためのスポーツの国際デーとしたことを、説明している。(P126) 「オリンピック・パラリンピックエピソード」 ・【文章】「オリンピック・パラリンピックにまつわるエピソードを資料を用いて説明している。(P130)

「別紙2-12」 オリンピック・パラリンピックの扱い【中学校 保健体育】

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
大修館	<p>「オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】オリンピック・パラリンピックの注目する見どころを三つに分類し示している。(口絵1、2) 「共に生きる」 ・【写真】国を越えて、障害の有無を越えて、つらい体験を乗り越えて、共に挑戦し支え合おうとする人々を示している。(口絵5、6) 「よりよい未来に向けて」 ・【写真】2020年東京オリンピック・パラリンピックではリサイクルでメダルが作られていることを説明している。(口絵8) 「運動やスポーツの効果・学び方・安全」 ・【写真】学習の導入として、これまでのオリンピック・パラリンピックで活躍した選手を取り上げている。(P58-59) 「文化としてのスポーツ」 ・【写真】国際的なスポーツ大会を通じて、観客同士、選手同士等の交流があり、親睦を深めていることを説明している。(P120-121) 「国際的なスポーツ大会の意義と役割」 ・【文章】オリンピック・パラリンピックの目的の一部である世界平和、国際親善について説明があり、「クーベルタン」や「嘉納治五郎」についても記載している。(P124-125) 「クローズアップ」 ・【文章】オリンピック・パラリンピックの始まり、発展、日本との関係等を説明している。(P126-127) 「人びとを結ぶスポーツ」 ・【文章】パラリンピックの正式種目であるボッチャについて説明している。(P129) ・【写真】メダリストの素晴らしい演技を示している。(P129)
学 研	<p>「スポーツで世界を一つに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】「バドミントン」「スピードスケート」「陸上競技」等の写真を掲載している。(口絵1) 「スポーツへの多様な関わり方」 ・【写真】1964年の東京オリンピック閉会式の新聞を取り上げ、「スポーツを知ること」を示している。(P19) 「文化としてのスポーツ」 ・【写真】2016年リオデジャネイロ大会の開会式の様子を示している。(P136) ・【文章】「嘉納治五郎」の功績に触れ、オリンピックを説明している。(P137) 「国際的なスポーツ大会とその役割」 ・【文章】オリンピック・パラリンピックを取り上げて説明している。(P140-141) 「オリンピック・パラリンピック」 ・【文章】Q&A形式で、オリンピック・パラリンピックに関する内容を取り上げている。(P144-145) 「日本とオリンピック・パラリンピック」 ・【文章】日本の歴史を時系列に沿って、当時の写真を用いて示している。(P146-147) 「国際的なスポーツ大会の遺産」 ・【文章】「オリンピック・レガシー」について写真を用いて説明している。(P148)

項目 発行者	ア 口絵	イ 章扉・章末	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫		エ ユニバーサル デザインの視点	オ デジタルコンテンツの 扱い	カ その他	
			読みもの	教科書の使い方 (冊子のつくり・教材配列等)				
東書	<p>・オリビック・バラリンピックのメッセーが、人と人をつなぐスポーツ・運動やスポーツと食事・交え合っている</p> <p>・オリビック・バラリンピックの筋肉・骨格・内臓</p>	<p>・章扉は、各章の学習に関連する小学校や高校の学習内容を示している。</p> <p>・章扉は、この章で学習する内容を示している。</p> <p>・章扉は、各章の学習に関連する写真を用いている。</p> <p>・章扉は、連綿の関連項目を示している。</p> <p>・章扉は、各章の学習に関連する「偉人」を取り上げている。</p> <p>・章末は、「章末資料」があり、各章の学習に関連した資料を取り上げている。</p> <p>・章末は、「学習のまとめ」があり、「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」の項目に分け、各単元の学習の振り返りができる。</p>	<p>進化する投票計 (P 7)</p> <p>・春の基礎は投票期につくられる (P 21)</p> <p>・ホルンの働き (P 25)</p> <p>・自己防衛活動 (P 51)</p> <p>・日本人運動会 (P 51)</p> <p>・自動車も加害者になる (P 66)</p> <p>・中学生が深めた地域のきずな (P 75)</p> <p>・メタボ健診 (P 95)</p> <p>・データ分析が試合を決める (P 115)</p> <p>・高山病 (P 128)</p> <p>・一酸化炭素中毒死 (P 137)</p> <p>・戦後日本の医薬品処理事情 (P 138)</p> <p>・英語検定 (P 143)</p> <p>・インフルエンザにかかったら (P 149)</p> <p>・世界と日本のHIV/AIDS状況 (P 155)</p> <p>・救急車、本当に必要ですか (P 159)</p> <p>・保健センターと保健指導 (P 161)</p> <p>・震災とスポーツ交流 (P 171)</p> <p>・スポーツと外交 (P 173)</p>	<p>・章の構成は、「章の扉」→「各時間の学習」→「章末資料」→「学習のまとめ」である。</p> <p>・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・その他のマークとして「キーワード」「ポイント」「関連する内容」「象徴」「読み物」「インターネットを使った学習」が示されている。</p> <p>・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。</p>	<p>・「WEB」 「二次元コード」 「大日本図書」にある動画や資料を使って学習することができま。」「と記載している。</p> <p>・「他教科」「リンク」マークを用いて、他教科や保健分野と体育分野との関連を示している。</p>	<p>・「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・教科書に付随しているマークとして、「見つけよう」「学習課題」「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。</p>	<p>・「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・教科書に付随しているマークとして、「見つけよう」「学習課題」「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。</p>	<p>・「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・教科書に付随しているマークとして、「見つけよう」「学習課題」「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。</p>
大日本	<p>・生きがいのある豊かな生活を！</p> <p>・スポーツは世界の言葉</p> <p>・スポーツはみんなができる、みんなをつなげる</p> <p>・オリビック・バラリンピックで世界で活躍する人々を支える健康</p> <p>・私たちの健康を支える食事</p> <p>・私たちの生活とスマートフォンの</p> <p>・1時間の学習の主な流れ</p> <p>・内臓臓器官と呼吸器官</p> <p>・骨格と筋肉</p>	<p>・章扉は、各章の学習に関連する小学校や高校の学習内容を示している。</p> <p>・章扉は、この章で学習する内容を示している。</p> <p>・章扉は、各章の学習に関連する写真を用いている。</p> <p>・章末は、「章末資料」があり、各章の学習に関連した資料を取り上げている。</p> <p>・章末は、「学習のまとめ」があり、「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」の項目に分け、各単元の学習の振り返りができる。</p>	<p>スポーツの意味 (P 4)</p> <p>・テレビのスポーツ観戦 (P 6)</p> <p>・健康をたもたそう (P 8)</p> <p>・ヘルスファインダー (P 16)</p> <p>・体づくり活動 (P 18)</p> <p>・和食 (P 20)</p> <p>・調和のとれた生活と健康のひきやすさ (P 24)</p> <p>・朝と夜の体の大きさ (P 20)</p> <p>・なぜ健康が必要なのか (P 32)</p> <p>・ホルモンの作用 (P 34)</p> <p>・卵子の数、精子の数 (P 36)</p> <p>・個性や能力を大切に (P 38)</p> <p>・夢をかかえるために (P 40)</p> <p>・自分らしさと職業 (P 42)</p> <p>・アンガーマネジメント (P 44)</p> <p>・PTSD (心的外傷後ストレス障害) (P 46)</p> <p>・笑いの健康効果 (P 48)</p> <p>・学習意欲の増加・親縁と学習意欲 (P 56)</p> <p>・「技術」と「技能」の関係 (P 58)</p> <p>・スポーツ障害 (P 60)</p> <p>・メタボリックシンドローム (P 72)</p> <p>・がんの予防法と診断 (P 74)</p> <p>・運動療法対策 (P 76)</p> <p>・デジタルヘルス (P 78)</p> <p>・米食の発展、飲酒は薬物乱用のゲートウェイ (P 82)</p> <p>・ビヤリハット (P 80)</p> <p>・ヘルメットの着用 (P 82)</p> <p>・子ども110番の家 (P 86)</p> <p>・海苔ででんご (P 88)</p> <p>・救急車利用のマネー (P 104)</p> <p>・AED (自動体外式除細動器) (P 106)</p> <p>・命に関わる大出血 (P 110)</p> <p>・よくあるけが (P 112)</p> <p>・スポーツの文化的意義 (P 120)</p> <p>・ユースオリンピック (P 122)</p> <p>・アダブテッド・スポーツ (P 126)</p> <p>・新型インフルエンザ (P 132)</p> <p>・学校感染症 (P 134)</p> <p>・学校感染症に対応するためのさまざまな機関 (P 136)</p> <p>・世界エイズデー (P 138)</p> <p>・世界の人の健康を守る (P 140)</p> <p>・サブドメインやトポドメインについて正しく理解しよう (P 142)</p> <p>・高地トレーニングの効果 (P 150)</p> <p>・外傷による体の不調 (P 152)</p> <p>・放射線の健康への影響 (P 154)</p> <p>・体内の水分量 (P 156)</p> <p>・災害時の情報の活用 (P 158)</p> <p>・食品の医薬品 (P 160)</p>	<p>・章の構成は「本文・資料」→「章末資料」→「学びを活かそう」→「章末資料」→「まとめ」である。</p> <p>・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・教科書に付随しているマークとして、「見つけよう」「学習課題」「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。</p>	<p>・「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・教科書に付随しているマークとして、「見つけよう」「学習課題」「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。</p>	<p>・「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・教科書に付随しているマークとして、「見つけよう」「学習課題」「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。</p>	<p>・「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・「1時間の学習の主な流れ」は、「見つけよう」→「学習課題」→「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・教科書に付随しているマークとして、「見つけよう」「学習課題」「課題の解決(見つけよう)」「本文」→「広げよう」→「活用」→「まとめ」を示している。</p> <p>・学習内容を学年別に構成しており、「保健」→「体育理論」の順に掲載している。</p>	

【別紙3】 (2) 構成上の工夫 (中学校 保健体育)

項目 発行者	ア 口絵	イ 章扉・章末	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫		エ ユニバーサル デザインの視点	オ デジタルコンテンツの 扱い	カ その他
			読みもの	教科書の使い方 (冊子のつくり・教材配列等)			
大修館	<p>・スポーツで世界を一つに に世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツ の広がり ・共によりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系</p>	<p>・章扉は、各章の学習に関連する 小学校や高校の学習内容を示して いる。 ・章扉は、この章で学習する内容 を示している。 ・章扉は、各章の学習に関連する イラストや写真を用いている。 ・章末資料に、「特集資料」があ り、各章の学習に関連した資料を 取り上げている。 ・章末は、「章のまとめ」があ り、「知論・技能の確認問題」「課 題」に向かって、「学習の振り返り 」の項目に分け、各単元の学習の振 り返りができる。</p>	<p>読みもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通いずる天才科学者 (P18) ・1週間で1年分の骨が減る？ (P21) ・スポーツ選手と食事 (P23) ・赤ちゃんと顔はどちら？ (P31) ・心拍数の正しいはかり方 (P33) ・月経とは (P35) ・脳の発達と神経回路が複雑になるだけではない (P40) ・藤井聡太さんの自己形成 (P45) ・欲求と自己実現 (P46) ・自律神経の働き (P48) ・中学生期に急めたい体力 (P60) ・むし菌と細菌 (P76) ・がん体質のことは (P83) ・主流理と副流理 (P85) ・ゴールの脳神経事故を防ぐ (P99) ・ヘルメットの着用 (P102) ・帽子で脳を守れ！ (P106) ・わからないときにはAED (P111) ・オリンピックの文・クレーベルタンと葛林治五郎 (P112) ・生活習慣の低扶け (P137) ・生活習慣病はなぜ起きる？ (P138) ・シタタは増えている妊娠糖尿病・梅毒 (P141) ・エイズに増えている性感染症・梅毒 (P143) ・気象情報提供されるまで (P158) ・ブルーライトに注意 (P161) ・新型コロナウイルス (P163) ・日本で最初に飲まれた水漬 (P165) ・し尿処理の古今東西 (P166) 	<p>教科書の使い方 (冊子のつくり・教材配列等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この教科書は「つかむ(章とびら、きょうの学習課題をつかむ、やってみよう)」「一身体育の目録」「考える(文章・資料・コラム)」「事例・実習」「保健の窓、体育の窓」「一まとめめ」・振り返る(学習のまとめ、生かそう、章のまとめ)という順番で構成されている。 ・その他のマークとして「キーワード」「よみ下げる」「関連 他教科」「発展」「ほり下げる」「Web媒体情報」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<p>ユニバーサル デザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専修紙に「カラーユニバーサルデザインに配慮しています。」「見やすく読みやすい」がえにくくユニバーサルデザインフォントを使用しています。」「と記載されている。 ・専修紙に「この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用してカラーユニバーサルデザインに配慮して制作しています。」「と記載している。 	<p>デジタルコンテンツの 扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Web媒体情報」に二次元コードがあらわに「ウェブサイトに参考になる情報を調べることができます。」「と記載している。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「関連」「他教科」マークを用いて、保健分野と体育分野や他教科との関連を示している。 ・キャリア教育の観点から「スポーツ」を「職業」として紹介し、様々な職業を示している。
学研	<p>・スポーツで世界を一つに に世界中の人が注目！ ・私たちの成長と運動やスポーツ の広がり ・共によりよい未来に向けて ・この教科書の使い方 ・内臓 ・神経系・内分泌系 ・骨格系・筋肉系</p>	<p>・章扉は、各章の学習に関連する 小学校や高校の学習内容を示して いる。 ・章扉は、この章で学習する内容 を示している。 ・章扉は、各章の学習に関連する イラストや写真を用いている。 ・章末資料に、「特集資料」があ り、各章の学習に関連した資料を 取り上げている。 ・章末は、「章のまとめ」があ り、「知論・技能の確認問題」「課 題」に向かって、「学習の振り返り 」の項目に分け、各単元の学習の振 り返りができる。</p>	<p>読みもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動活動 (P21) ・不器用が生まれた高橋の技術 (P23) ・睡眠が学習する (P35) ・コンピュータやスマートフォンなどと健康 (P36) ・生活を記録して夢をかなえる (P37) ・十分な睡眠はよい結果を生む。 (P40) ・よりよく、うまく生きていくために発達した大脳 (P54) ・体力測定と体力 (P74) ・スポーツで求められること (P75) ・前づらんがない場合や水が少ない場合の車の手入れ (P88) ・メタボリックシンドローム (P89) ・「アルハラ」は人権侵害 (P94) ・研究が進む、がんの治療 (P102) ・「ヒヤリ・ハット」体験 (P109) ・健康でめでたこ (P121) ・病気の連鎖 (P122) (P126) ・あまたに病気を防ぐ (P126) ・気象予報の講習会 (P130) ・「ヒヤリ・ハット」体験 (P141) ・変わりゆくスポーツ (P141) ・よきライバル (P142) ・スポーツでつながる世界 (P143) ・日本ではまだ多い怪我 (P153) ・知って防ごう 食中毒 (P154) ・HIV感染症・エイズは世界の課題 (P159) ・病気の連鎖が判断力を鈍らせる (P162) ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる (P174) ・地球の水資源 (P177) ・現存する日本最古の下水道 (P179) ・災害時のトイレと健康 (P179) ・化学物質と健康 (P183) 	<p>教科書の使い方 (冊子のつくり・教材配列等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章の構成は、「各時間の学習(もつと広げる深める、探究しよう!)」→「章のまとめ」である。 ・「1時間の学習の主な流れ」は、「キーワード」→「課題をつかむ(本文、資料)」→「考える」「調べる」→「まとめる」「深める」と進んでいくことを示している。 ・その他のマークとして「キーワード」「技能」「実習」「情報アプリ」「リンク」「探究」「コラム」が示されている。 ・学習内容を学年別に構成しており、「体育理論」→「保健」の順に掲載している。 	<p>ユニバーサル デザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専修紙に「この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用してカラーユニバーサルデザインに配慮して制作しています。」「と記載している。 ・「QRコード」を読み取り、「教科書サイト」にアクセスします。」「と記載している。 	<p>デジタルコンテンツの 扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リンク」マークを用いて、「参考になるウェブサイトに」を取り上げて記載している。 ・「QRコード」を読み取り、「教科書サイト」にアクセスします。」「と記載している。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の観点から、口絵で「スポーツ」健康・安全の分野で活躍する人たちに「スポーツ」を取り上げて紹介している。また、学習内容に関連した職業や資格がページの右下に示されている。 ・「関連」マークを用いて、他教科や保健分野と体育分野との関連を示している。 ・巻末に「保健体育の学習に終わりに共に健康に生きる社会 人類と地球の未来のために」を示している。